青年団体指導者研修に参加して

青年団体幹部、指導者が、よりよくその任務を遂行するために必要な基本的態度および団体の運営に関する知識、技能を実施し、健全な青年団体活動の振興に資する目的で、七月十一日から十五日までの五日間、静岡県御殿場市にある国立中央青年の家で文部省主催による標記の研修会に、県下二名の代表として本村から高畑の中村栄一君が参加され、研修会での寄稿がありましたのでお知らせします。

中村　栄一氏

この集まりは東日本地区（青森から滋賀、兵庫県まで）各県から二名ずつ参加、地域に於いて指導立場にある人達が集まり話し合い、討議研究がなされた。

私達が生活をしているそれを取りまく社会の変ぼうの中に我々青年はどう進んだら良いのか、時期世代への担い手としてその使命は大きく私達はただ呆然と暮しているが生活、社会的問題点矛盾将来の課題は多く常に何物を背負っているわけで責任は大きく、これから青少年教育の育成という事からして重要であり、私は青少年でもあり、いろんな立場から勉強しようと心掛け研修に参加させて頂きました。

研修内容は特に青年団体に関する講義を基礎とし議題により農山漁村及び都市部の二分科会にわかれ、それぞれ地域の情報、活動、意見等を出し合って討議された。

一、集団活動の理論と実際に関して我々は集団生活を送っている。

この事は簡単な様で行動に表わそうとすると実に複雑でむづかしい。身近その小な生活の中から青年団体に於いてはグループを作り、親しみ合っていくのが集団活動「サークル」である。

そこで行動を起すにあたっては目的は何か、これはグループに入っていく人の考えによってグループの特色が変わり、それに相応した活動プログラムを作っていく。そしてそこには助言者かリーダー良き指導者がいなければならない。

二、グループの育て方。

(イ)雰囲気がなごやかかどうか。

(ロ)自分の思っていることを自由に話すことが出来るか。

(ハ)プログラムの組み方はどうなっているか。

(ニ)参加者の深い欲求が満されているかどうか。

(ホ)変化する情勢に対して高い適応性を持っているか。

(ヘ)グループがそれを誇りにしているか等を考えてグループ育成をしていく。

三、グループ会員の理解

(イ)友達がほしいということでグループに入る。

(ロ)グループに入ることによって満足される。

(ハ)人に認めてもらえたいという欲求がある。

(ニ)自主性を確立させたいという野心がある。

(ホ)新しい事を学びたいということ（悪質な欲求不満）

(ヘ)会員意識を高める（興味を持つ）

(ト)会の役員年期は何年位にするか等を考え、理解しながらリーダーは指導して行かなければならない。

それでは青年団体を運営していくには、グループ会の役員構成組織が良くなければスムーズに行かず、充分検討して立てなければならない。

したがって青年団は中央からの指命ではなくて、各単位団からの盛り上りで行かなければならず、各地域に於いて青年が少なくなったとしても、それはそれなりに方法はいくらでもあるだろう。

地域に適した活動、それらに対して転換が出来ないから次第に入団せず減少している原因である。

これが現在青年団活動が壁に打ちあたり停滞しているといわれる点で、壁をつたって左右どちらかの方向へ曲って行けば青年の進むべき道が開けてくる。

それには現在青年団改善で組織の強化をしなければならない。

単位団組織に於いては小人数でグループを作り、その中には欲求、関心、興味、趣味、目的を含めて形成する。

グループ、サークル内では地域にある身近かな問題、自己の考えている事等何んでも話せるよう受容的、許容的にならなければならず、行動を起す為にはむづかしい事はない。

他人は常に大切に。結び。

激しい社会の動き、農業改善へと叫ばれている今日、荒波の中におかれており、不安多大、農村、社会問題等を我々の青年団活動を通じ、身近かな問題を取りあげ話し合いを起し青年の教養生活を高めるように努めなければならない。

最後に良き会員を作るには良き指導者、良き指導者を作る為には良き会員でなければならないと私は感じている。

夏季大清掃の実施について

※美しい村をいつまでも※

国体を迎えるためにきれいな環境作りに努力して参りましたが、いつまでも美しい住みよい村にするため平素から清掃の徹底をはかり習慣化につとめましょう。

村では四月環境衛生事業打合せのため区長さんに集っていただき、八月上旬に各家の夏季大清掃を一斉に行なってもらう事になって居ります。

特にこの夏季大清掃のためB・H・C粉剤を各部落に配布してありますが、有効にこの薬を使用し新潟地震によって汚れた箇所の清掃、梅雨によるカビの除去に努めて下さい。

この清掃徹底のため、各部落毎に清掃の日をきめる等の工夫をこらしたいものです。役場では各部落単位にミストファン・三兼機等の借出しを行なっています

これらの機具の利用をはかり蚊、ハエの駆除の徹底をはかって、清掃の効果をあげる様にしてもらいたいものです。

ラジオ農業学校

八月中の集合研修会が次の通り開かれる。

五日～七日　志賀高原巻町・西川町・潟東村の四ケ町村合同で志賀高原木戸池キャンプ場で教育キャンプを行なう。

二十四日　潟東村研修館四ケ町村合同でキャンプの反省会を開く。

二十七日　岩室中学校収量調査と農繁期の栄養について。

村民野球大会　八日、九日の二日間、第五回村民野球大会が岩中、和納の両グラウンドで開かれる。申込は三日まで公民館へ。四日抽せん会を行なう。

囲碁将棋大会　公民館主催による第七回囲碁将棋大会が十六日間潟支所で開かれます。申込は十四日まで公民館へ。会費一人百円（中食付）

あとがき

○長雨から開放され本格的な夏を迎えますが、健康、火のもと、酒は充分注意いたしましょう。（福助）